

菊池広域連合告示第7号

菊池広域連合財政事情の公表

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第1項及び菊池広域連合財政事情公表に関する条例（平成10年菊池広域連合条例第23号）第2条第1項の規定に基づき、菊池広域連合財政事情を別紙のとおり公表する。

令和4年6月1日

菊池広域連合長 荒木 義行

# 菊池広域連合の財政事情

令和4年6月1日公表

# 目 次

まえがき	1
1 令和3年度下半期一般会計の執行状況	2
2 令和3年度広域連合構成市町村負担金の状況	3
3 広域連合財産の状況	4～5
4 令和4年度一般会計の状況	
1) 令和4年度予算編成の基本的な考え方	6～7
2) 主な事業	8
3) 当初予算の推移	9
4) 歳入予算項目別構成比	10
5) 歳出予算目的別構成比	11
6) 歳出予算性質別構成比	12

# ま え が き

この「菊池広域連合の財政事情」は、地方自治法及び菊池広域連合財政事情公表に関する条例の規定により、毎年6月1日と12月1日の2回公表しているものです。

今回は、令和3年度下半期（令和3年10月1日から令和4年3月31日）における一般会計の執行状況や、令和4年度一般会計当初予算などを内容としております。

## 1. 令和3年度 下半期一般会計の執行状況

### ■歳入

(単位:千円、%)

区 分	当初予算額	第 1 号 (7月補正)	第 2 号 (2月補正)	第 3 号 (3月補正)	最終予算額	上半期 収入済額	下半期 収入済額	収入済額	収入率
1 分担金及び負担金	2,372,347				2,372,347	1,897,878	474,469	2,372,347	100.0%
2 使用料及び手数料	31,480		△ 1,117		30,363	15,128	17,522	32,161	105.9%
3 国庫支出金									0.0%
4 県支出金	4,538		48		4,586		4,970	4,970	108.4%
5 財産収入	108		899	2,458	3,465		3,466	3,466	100.0%
6 繰入金	10,000	2,238	△ 9,677		2,561		2,480	2,480	96.8%
7 繰越金	20,728				20,728		20,728	20,728	100.0%
8 諸収入	245		29		274	118	771	889	324.5%
9 連合債	136,000		△ 17,800		118,200		118,200	118,200	100.0%
合 計	2,575,446	2,238	△ 27,618	2,458	2,552,524	1,913,124	642,606	2,555,241	100.1%

※25億3,879万6千円の予算に対し、収入済額は25億4,151万3千円、100.1%の収入率となっています。

### ■歳出(目的別)

(単位:千円、%)

区 分	当初予算額	第 1 号 (10月補正)	第 2 号 (11月補正)	第 3 号 (2月補正)	予備費支出 及び流用増減	最終予算額	上半期 支出済額	下半期 支出済額	執行済額	執行率
1 議会費	4,612		△ 3,124			1,488	285	3,037	1,209	81.3%
2 総務費	88,856		△ 1,170	282		87,968	26,592	60,108	87,001	98.9%
3 民生費	56,360	198	△ 538			56,020	8,353	46,307	55,319	98.7%
4 衛生費	276,276		△ 27,351			248,925	65,153	178,688	242,642	97.5%
5 消防費	1,961,038	2,040	△ 73,048			1,890,030	788,978	1,057,059	1,881,243	99.5%
6 公債費	181,304					181,304	81,080	183,818	181,088	99.9%
7 予備費	7,000		77,613	2,176		86,789				0.0%
合 計	2,575,446	2,238	△ 27,618	2,458	0	2,552,524	970,440	1,529,017	2,448,502	95.9%

※25億3,879万6千円の予算に対し、執行済額は24億3,477万4千円、95.9%の執行率となっています。

## 2. 令和3年度 広域連合構成市町負担金の状況

### ■市町負担金の状況

(単位：千円、%)

市町村名	当 初 予算額	補正額	最 終 予算額	上 半 期 収入済額	下 半 期 収入済額	収入済額	収入率	備 考
菊池市	781,991	0	781,991	625,593	156,398	781,991	100.0%	
合志市	649,899	0	649,899	519,919	129,980	649,899	100.0%	
大津町	457,825	0	457,825	366,260	91,565	457,825	100.0%	
菊陽町	482,632	0	482,632	386,106	96,526	482,632	100.0%	
合 計	2,372,347	0	2,372,347	1,897,878	474,469	2,372,347	100.0%	

### ■市町負担金の内訳

(単位：千円)

市町村名	管理費	調 査 研究費	研修費	介 護 保険費	火葬場費	し 尿 処理費	消防費	障害者総 合支援費	無縁仏納 骨堂費	合 計
菊池市	19,226			18,320	8,509	140,530	590,481	4,925		781,991
合志市	22,913			15,392	10,142	23,774	573,123	4,555		649,899
大津町	13,907			9,335	6,155	42,752	383,616	2,060		457,825
菊陽町	16,629			9,144	7,360	16,639	430,384	2,476		482,632
合 計	72,675	0	0	52,191	32,166	223,695	1,977,604	14,016	0	2,372,347

### 3 広域連合財産の状況

令和4年3月末現在

#### 1 公有財産

(1) 土地及び建物

(単位：㎡)

区 分	土 地 (地 積)			建 物								
	前年度末 現 在 高	決算年度 中増減高	決算年度 末現在高	木造 (延面積)			非木造 (延面積)			延面積計		
				前年度末 現 在 高	決算年度 中増減高	決算年度 末現在高	前年度末 現 在 高	決算年度 中増減高	決算年度 末現在高	前年度末 現 在 高	決算年度 中増減高	決算年度 末現在高
その他の 行政機関	消 防 本 部 署						1,966.00	0.00	1,966.00	1,966.00	0.00	1,966.00
	北 消 防 署						2,241.85	0.00	2,241.85	2,241.85	0.00	2,241.85
	西 消 防 署						1,219.96	0.00	1,219.96	1,219.96	0.00	1,219.96
	泉ヶ丘消防署						403.64	0.00	403.64	403.64	0.00	403.64
	泉ヶ丘消防署 予 定 地	6,252.00	0.00	6,252.00								
	その他の施設											
公共用 財産	学 校											
	公 営 住 宅											
	公 園											
	その他の施設	18,461.50	0.00	18,461.50	19.76	0.00	19.76	6,092.32	0.00	6,092.32	6,112.08	0.00
山 林												
合 計	24,713.50	0.00	24,713.50	19.76	0.00	19.76	11,923.77	0.00	11,923.77	11,943.53	0.00	11,943.53

#### 2 物 品

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
備 品	名 称			
車両	4t ダンプトラック	1 台	△ 1 台	0 台
	軽トラック	1 台		1 台
	フォークリフト	1 台		1 台
	庁用車	1 台		1 台
	連絡車	2 台		2 台
	査察車	3 台		3 台
	救急普及啓発車	1 台		1 台
	指揮車	4 台	±1 台	4 台
	高規格救急車	9 台	±1 台	9 台
	ポンプ車	4 台		4 台
	タンク車	3 台		3 台
	化学車	2 台		2 台
	梯子車	1 台		1 台
	多目的車	1 台		1 台
	多目的ポンプ車	1 台		1 台
	救助工作車	2 台		2 台
	資機材搬送車	3 台		3 台
	小 計		40 台	△ 1 台

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
備 品	名 称			
その他備品	ドラフトチャンバー	1 台	台	1 台
	遗体保冷库	1 台	台	1 台
	発電機	1 台	台	1 台
	防災エアータント	2 台	台	2 台
	高度救急処置シミュレーターⅡ型	1 台	台	1 台
	高度救命処置用訓練人形（レサシアンシミュレータ・Simpad）	2 台	台	2 台
	インパルス消火器具	1 台	△ 1 台	0 台
	自動体外式除細動器一式	7 台	台	7 台
	体力錬成器具コンビネーションマシーン	1 台	台	1 台
	救助用チタン三連梯子	11 台	台	11 台
	高機能消防指令システム機器一式	1 台	台	1 台
	消防救急デジタル無線設備一式	1 台	台	1 台
	空気充填用高圧コンプレッサー一式	1 台	台	1 台
	油圧カッター	3 台	台	3 台
	ラムシリンダー	1 台	台	1 台
	油圧スプレッダー	3 台	台	3 台
	簡易画像探索機	1 台	台	1 台
	無人航空機	1 台	台	1 台
	除染シャワー	1 台	台	1 台
	送排風機	1 台	台	1 台
	マンホール救助器具	1 台	台	1 台
	赤外線サーマルカメラ	1 台	台	1 台
	人工呼吸器	4 台	台	4 台
	心電計(モニター)	5 台	台	5 台
	血中酸素飽和度測定器	1 台	台	1 台
	メインストレッチャー	3 台	台	3 台
	自動心肺蘇生器	3 台	台	3 台
	ポンプユニット	1 台	台	1 台
	重量物排除器具	1 台	台	1 台
	救助用支柱器具	1 台	台	1 台
レスキューフレーム	1 台	台	1 台	
	小 計	64 台	△ 1 台	63 台
	合 計	104 台	△ 2 台	102 台

### 3 債 権

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
貸 付 金	千円	千円	0 千円

### 4 基 金

区 分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
不 動 産	土地	㎡	㎡	㎡
	山林	㎡	㎡	㎡
	立 木			
	有 価 証 券	千円	千円	千円
	現 金	325,723 千円	184,286 千円	510,009 千円



## 4. 令和4年度一般会計の状況

### 1) 令和4年度 予算編成の基本的な考え方

#### 国の動向

我が国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大により大きな打撃を受けており、この状況は当面続くものと考えられている。

このような中、内閣府が9月に発表した「月例経済報告」によると、景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、このところそのテンポが弱まっている。先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、内外の感染症の動向、サプライチェーンを通じた影響による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があるとしている。

本年6月18日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2021」（骨太の方針）において、我が国は、新型コロナウイルス感染症による甚大な影響を機に、デジタル技術を活用した働き方の多様化、環境問題への意識の高まり、地方での暮らしへの関心の高まりなど、未来に向けた変化が大きく動き始めているとしている。

この変化を的確に捉え、ポストコロナの持続的な成長基盤を確立するため、「グリーン社会の実現」、「官民挙げたデジタル化の加速」、「日本全体を元気にする活力ある地方創り」、「少子化を克服・子供を産み育てやすい社会の実現」の4つを、成長を生み出す原動力として強力で推進していくことを示している。

地方の歳出水準については、国の一般歳出の取組と基調を合わせつつ、地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源の総額について、2021年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとしている。

## 予算編成の基本方針

令和4年度予算については、これまでにない厳しい財政環境の中にあつて、菊池広域連合広域計画に掲げる施策をより一層の効率的な手法を採りつつ効果的に推進するとともに、国の制度変更や、社会経済状況の変化への的確な対応、特に、「新たな日常」などの今後の社会変容を見据えた新たな取組を進めていくため、次の考え方に基づいて予算編成を進めるものとする。

### (1) 既存事業の徹底した見直し

- ・新たな政策課題に対し、限られた人員体制・財源の下で解決を図るためには、コロナ時代に合った形に事業をリニューアルするなど、既存事業の抜本的な見直しにより、新たな事業展開に要する「マンパワー」と「財源」を生み出すこと。

### (2) 職員定数の適正化及び長時間労働の抑制

- ・既存事業の統廃合、委託化、業務の効率化等に努め、真に職員が行うべき業務を明確にすることにより、職員定数の適正化について検討を行うこと。
- ・勤務時間に対する意識を改革し、長時間労働の抑制に取り組むこと。
- ・会計年度任用職員制度の適切な運用に努めること。

### (3) 公共事業等の徹底した重点化

- ・投資的経費については、連合債発行を伴うことが多いことから、新発債の抑制を図るためにも徹底した平準化と重点化を図る必要がある。このため、公共事業等については、事業効果の早期発現、緊急性、費用対効果及び後年度財政負担等を十分に勘案し、緊急性の高い対策へ事業を厳選する。

なお、その際には、国の「3か年緊急対策」後の予算の動向や地方債制度の変更を注視し、充当率や交付税措置の有利な起債を最大限活用することで、将来負担を軽減しながら取り組む。

※現時点で盛り込めていない国の動き等については、予算編成過程において検討・反映する。

### (4) 菊池環境保全組合との統合に向けた取組

- ・現在協議を進めている菊池環境保全組合との円滑な統合に向け、必要な予算を確保する。

## 2) 主な事業

<b>(1) 議会費</b>	<b>予算額</b>	<b>2,341 千円</b>
①広域連合議会事業		1,457 千円
②菊池地域議長会事業		884 千円
<b>(2) 総務費</b>	<b>予算額</b>	<b>96,982 千円</b>
①総務係事業		96,654 千円
給料		8,232 千円
職員手当等		4,914 千円
派遣職員負担金		35,386 千円
②選挙管理委員会事業		56 千円
③監査委員事業		272 千円
<b>(3) 民生費</b>	<b>予算額</b>	<b>67,333 千円</b>
①介護保険事業		53,407 千円
委員報酬（介護認定審査会委員）		11,340 千円
給料		4,628 千円
職員手当等		5,253 千円
派遣職員負担金		24,200 千円
②障がい者福祉係事業		13,926 千円
委員報酬（障害者総合支援審査会委員）		1,755 千円
派遣職員負担金		11,300 千円
<b>(4) 衛生費</b>	<b>予算額</b>	<b>287,715 千円</b>
①火葬場事業		76,674 千円
火葬業務（委託料）		26,508 千円
菊池、大津火葬場火葬炉設備改修工事 他（工事請負）		20,727 千円
②環境衛生係事業		7,322 千円
派遣職員負担金		7,000 千円
③し尿処理場事業		203,719 千円
給料		5,839 千円
職員手当等		3,381 千円
医薬材料費		29,934 千円
運転管理業務（委託料）		66,225 千円
クリーンセンター花房補修工事		45,961 千円
<b>(5) 消防費</b>	<b>予算額</b>	<b>2,262,973 千円</b>
①常備消防費（総務課事業）		1,577,679 千円
給料		648,023 千円
職員手当等		550,866 千円
通信指令システム保守管理委託		19,858 千円
②消防施設費（総務課事業）		685,294 千円
工事監理委託料		11,997 千円
消防関連施設整備工事		532,634 千円
備品購入費（消防車両等）		35,428 千円
消防施設整備基金積立金		100,000 千円
<b>(6) 公債費</b>	<b>予算額</b>	<b>169,609 千円</b>
①消防費償還事業 元金		168,446 千円
②消防費償還事業 利子		1,163 千円
<b>(7) 予備費</b>	<b>予算額</b>	<b>7,000 千円</b>

### 3) 【当初予算の推移】

菊池広域連合は、旧菊池郡市8市町村を構成市町村として平成10年7月1日に発足しました。その後、平成の大合併を経て2市2町の構成市町となり現在に至っています。

発足当時の処理事務は以下の5つとなっていました。

- ・「関係市町村の一体的整備に係る調査研究及び連絡調整に関すること」
- ・「菊池広域市町村圏計画の策定及び同計画の実施に必要な連絡調整に関すること」  
(平成17年3月22日の新菊池市誕生により削除)
- ・「広域行政体制の整備に関すること」
- ・「関係市町村職員等の集合研修に関すること」
- ・「墓地、埋葬等に関する法律に基づく火葬場の設置、管理及び運営に関すること」

その後、以下の処理事務を追加しています。

- ・平成11年4月に「介護保険法に基づく介護認定審査会の設置及び運営に関すること」
  - ・平成13年5月に「し尿処理施設の設置、管理及び運営に関すること」
  - ・平成17年2月に「消防に関すること」
  - ・平成17年2月に「熊本県知事の権限に属する事務処理の特例に関する条例第2条の規定により広域連合が処理することとされている事務に関すること」
  - ・平成18年4月に「障害者総合支援に関する法に基づく介護給付費等の支給に関する審査会の設置及び運営に関すること」
  - ・平成24年4月に「墓地、埋葬等に関する法律第9条第1項の規定により関係市町が行う火葬に係る焼骨を収蔵する納骨堂の設置、管理及び運営に関すること」
- 以上のような処理事務の追加に伴い、現在の予算規模となりました。

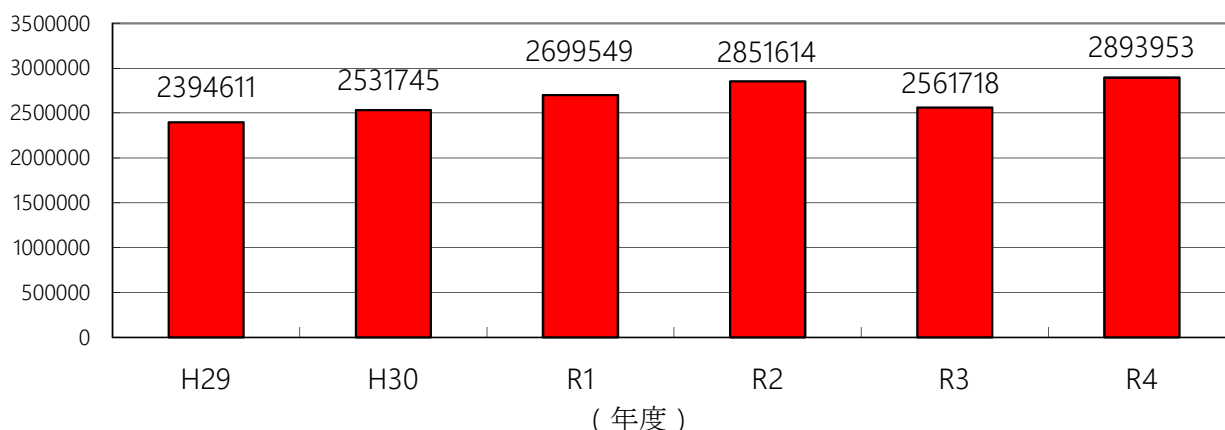
令和4年度については、電算システムの更新、菊池環境保全組合との統合に向けた例規整備、両火葬場の火葬炉設備改修工事、大津火葬場トイレ改修工事、クリーンセンター花房のブロワ及び一次・二次発酵槽他整備工事、高機能消防指令施設部分更新工事及び泉ヶ丘署建設工事、救急自動車の整備等を予定しております。

(単位：千円、%)

区 分	H29	H30	R1	R2	R3	R4
当初予算額	2,394,611	2,531,745	2,699,549	2,851,614	2,561,718	2,893,953
前年度伸率	1.9	5.7	6.6	5.6	△ 10.2	13.0

#### 当初予算総額の推移

単位：千円



## 4) 歳入予算項目別構成比

令和4年度の菊池広域連合一般会計予算が、令和4年3月24日に開催された令和4年第1回菊池広域連合議会定例会で可決されました。予算額は、歳入歳出それぞれ28億9,395万3千円で、前年度の当初予算25億6,171万円8千円と比較して3億3,223万5千円（前年比12.97%増）の増額となっています。

### (1) 歳入

端数により100にならないものもあります

(単位：千円、%)

区 分	令和4年度		令和3年度		対前年比	説 明
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
分担金及び負担金	2,378,300	82.18%	2,372,347	92.61%	5,953	市町負担金 菊池市 760,728 合志市 662,985 大津町 461,784 菊陽町 492,803
使用料及び手数料	30,920	1.07%	31,480	1.23%	△ 560	火葬場使用料、消防費手数料 他
国庫支出金	0	0.00%	0	0.00%	0	
県支出金	5,580	0.19%	4,538	0.18%	1,042	県消防学校派遣職員負担金 他
財産収入	295	0.01%	108	0.00%	187	財政調整基金利子 他
繰入金	99,200	3.43%	10,000	0.39%	89,200	財政調整基金繰入金
繰越金	7,000	0.24%	7,000	0.27%	0	前年度繰越金
諸収入	258	0.01%	245	0.01%	13	普通預金利子、自動販売機電気料 他
連合債	372,400	12.87%	136,000	5.31%	236,400	泉ヶ丘消防庁舎整備・高規格救急自動車
合 計	<b>2,893,953</b>	<b>100.0%</b>	<b>2,561,718</b>	<b>100.0%</b>	<b>332,235</b>	

連合の予算については、歳入の大半が構成市町の負担金（令和4年度構成比：82.18%）であることから、構成市町の負担金については、財政担当課等との協議、調整の上、予算編成を行っています。構成市町の負担金の算定にあたっては、特に財政調整基金からの繰入金によって調整を行っており、構成市町負担金が単年度において極端に増えないよう調整しております。また、基金については、財政調整基金残高（年度末）目標を1億円と設定し、消防施設整備のため消防施設整備基金を別途約1億円積み立てることとしております。

これらの目標設定に基づき今年度繰入金を調整し、負担金を決定しています。今年度の市町負担金は23億7,830万円で、595万3千円（前年比0.25%増）の増額です。

事業別負担金の増・減額内訳は、管理費（議会費・総務費）分は655万4千円の増、介護保険費分は8万4千円の増、障がい者総合支援費分は9万円の減、火葬場費分は666万6千円の増、し処理費分は1,267万6千円の減、消防費分は558万3千円の増となっています。

使用料及び手数料は56万円（前年比1.78%減）の減額で、主な理由は、火葬場使用料の減額によるものです。

県支出金は104万2千円（前年比0.22%増）の増額で、主な理由は、熊本県消防学校派遣職員負担金の増額によるものです。

財産収入は18万7千円（前年比173.15%増）の増額で、主な理由は、公有財産売却収入の増額によるものです。

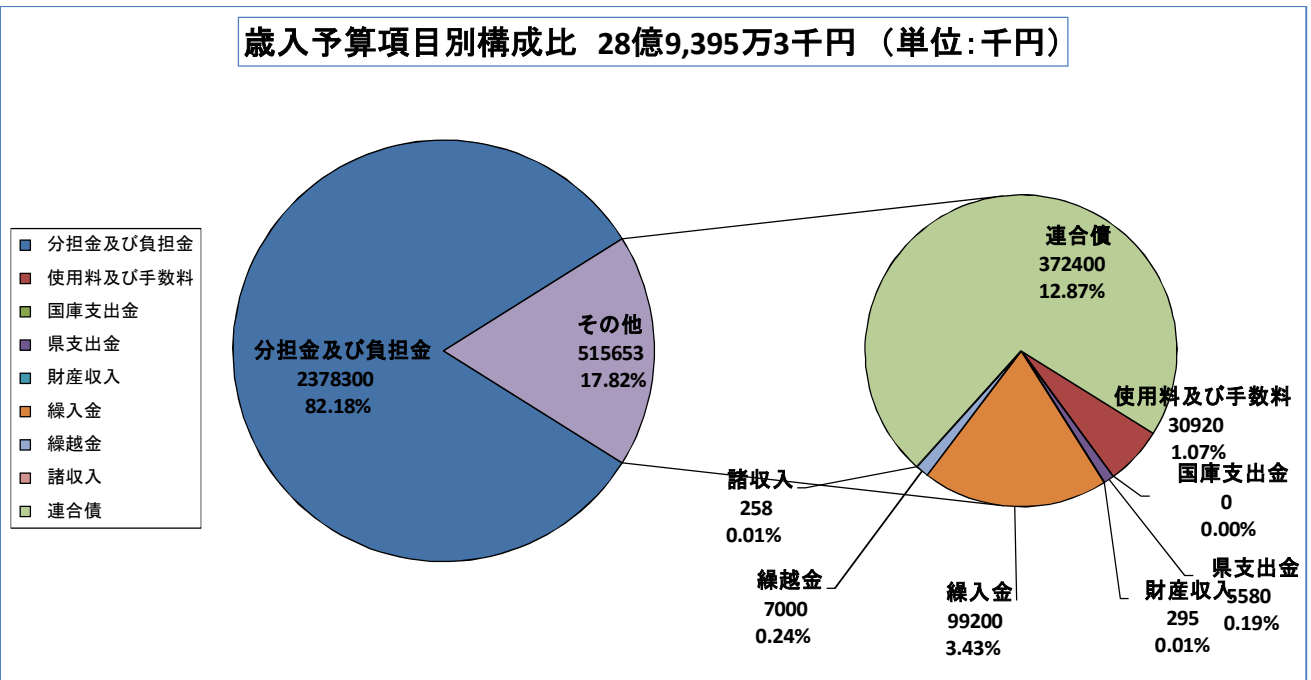
繰入金は8,920万円（前年比892.00%増）の増額で、主な理由は、電算システムの更新、菊池環境保全組合との統合に向けた例規整備、泉ヶ丘消防庁舎整備事業及び消防車両の計画的更新によるものです。

繰越金は前年度繰越金と同額の700万円です。

諸収入は1万3千円（前年比5.31%増）の増額です。

連合債は2億3,640万円（前年比173.82%増）の増額で、主な理由は、消防施設整備事業債及び緊急防災・減災事業債の増額です。

歳入予算項目別構成比 28億9,395万3千円（単位：千円）



## 5) 歳出予算目的別構成比

歳出については、菊池広域連合の令和4年度予算編成方針等を作成し、予算要求基準を設定するとともに、構成市町の財政担当課等の指摘を受けながら、併せて需用費等の歳出全般の見直し、削減に努めました。歳出（目的別）の年度比較は下記のとおりです。

### (2) 歳出（目的別）

端数により100にならないものもあります

区 分	令和4年度		令和3年度		対前年比	説 明
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
議会費	2,341	0.08%	4,612	0.18%	△ 2,271	議会事業、議長会事業
総務費	96,982	3.35%	68,131	2.66%	28,851	一般管理費、選挙管理委員会費、監査委員費
民生費	67,333	2.33%	66,207	2.58%	1,126	介護保険費、障がい者福祉費
衛生費	287,715	9.94%	287,154	11.21%	561	火葬場費、清掃総務費、し尿処理費
消防費	2,262,973	78.20%	1,947,310	76.02%	315,663	常備消防費、消防施設費
公債費	169,609	5.86%	181,304	7.08%	△ 11,695	償還元金・利子
予備費	7,000	0.24%	7,000	0.27%	0	
合 計	2,893,953	100.0%	2,561,718	100.0%	332,235	

議会費は227万1千円（前年比49.24%減）の減額で、主な理由は、隔年実施の正副連合長・議会議員合同視察研修にかかる旅費（前年比226万4千円減）の減額によるものです。

総務費は2,885万1千円（前年比42.35%増）の増額で、主な理由は、電算システムの更新及び菊池環境保全組合との統合に向けた例規整備等による委託料（前年比2,975万2千円増）の増額によるものです。

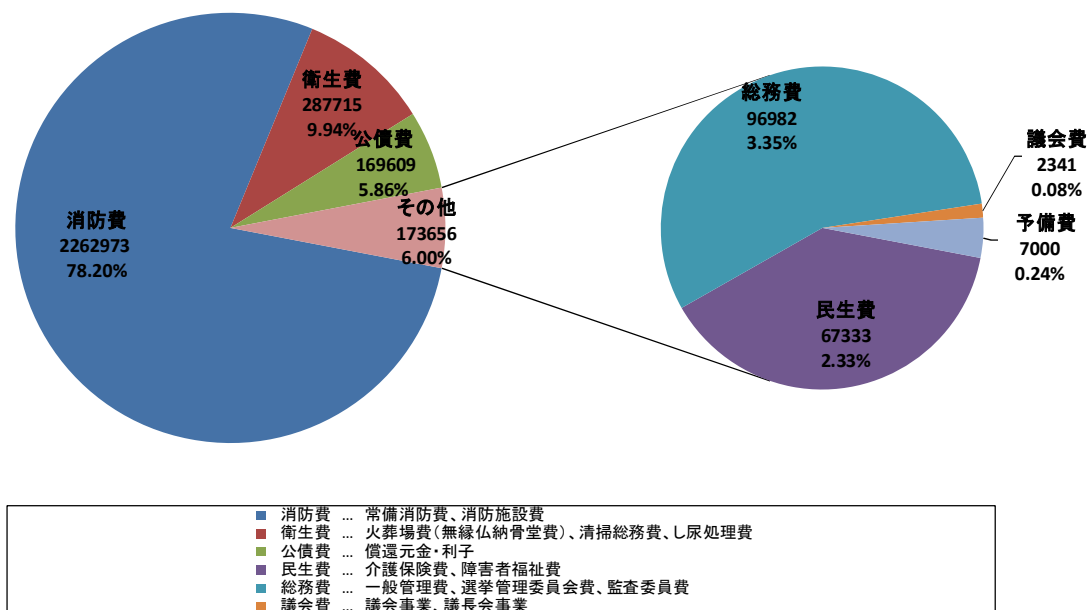
民生費は112万6千円（前年比1.70%増）の増額で、主な理由は、派遣職員負担金（前年比90万円増）の増額によるものです。

衛生費は56万1千円（前年比0.20%増）の増額で、主な理由は、燃料費高騰による燃料費（前年比461万1千円増）の増額、計画的な施設管理による火葬場の補修工事費（前年比468万6千円増）の増額、派遣職員負担金（前年比750万円減）の減額によるものです。

消防費は3億1,566万3千円（前年比16.21%増）の増額で、主な理由は、泉ヶ丘消防署整備事業による工事請負費（前年比3億8,817万6千円増）の増額によるものです。

公債費は1,169万5千円（前年比6.45%減）の減額で、主な理由は、消防費償還元金（前年比918万6千円減）の減額によるものです。

歳出予算(目的別)構成比 28億9,395万3千円 (単位:千円)



## 6) 歳出予算目的別構成比

歳出(性質別)の年度比較は下記のとおりです。人件費が一番多く(50.51%)、次いで普通建設事業費(19.63%)、物件費(13.66%)、公債費(5.86%)、積立金(3.46%)、補助費等(3.15%)、維持補修費(2.57%)、扶助費(0.92%)、予備費(0.24%)の順番になっています。

### (3) 歳出(性質別)

端数により100にならないものもあります

(単位:千円、%)

区 分	令和4年度		令和3年度		対前年比	説明
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比		
人件費	1,461,716	50.51%	1,496,862	58.43%	△ 35,146	報酬、給料、職員手当等、共済費
物件費	395,292	13.66%	391,660	15.29%	3,632	旅費、交際費、需要費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費
維持補修費	74,336	2.57%	75,579	2.95%	△ 1,243	火葬場、し尿処理施設、消防施設等修繕
扶助費	26,680	0.92%	25,745	1.00%	935	児童手当
補助費等	91,111	3.15%	97,176	3.79%	△ 6,065	報償費、役務費(保険料等)、負担金、派遣職員負担金、公課費
普通建設事業費	568,062	19.63%	186,283	7.27%	381,779	
(1) 補助事業費					0	泉ヶ丘消防署建設工事、南消防署浴室改修工事、高規格救急自動車整備事業等
(2) 国直轄事業負担金					0	
(3) 単独事業費	568,062		186,283		381,779	
公債費	169,609	5.86%	181,304	7.08%	△ 11,695	償還元金・利子
積立金	100,147	3.46%	100,109	3.91%	38	消防施設整備基金及び利子・財政調整基金利子
予備費	7,000	0.24%	7,000	0.27%	0	
合 計	2,893,953	100%	2,561,718	100%	332,235	

人件費は3,514万6千円(前年比2.35%減)の減額で、主な理由は、消防費(前年比3,342万3千円減)の減額によるものです。

物件費は363万2千円(前年比0.93%増)の増額で、主な理由は、総務費の委託料(前年比2,975万2千円増)の増額、消防費の委託料(前年比3,219万1千円)の減額によるものです。

維持補修費は124万3千円(前年比1.64%減)の減額で、主な理由は、火葬場費の工事請負費(前年比468万6千円増)の増額、し尿処理費の工事請負費(前年比593万4千円減)の減額によるものです。

扶助費は93万5千円(前年比3.63%増)の増額で、主な理由は、消防費の扶助費(前年比135万5千円増)の増額によるものです。

補助費等は606万5千円(前年比6.24%減)の減額で、主な理由は、衛生費の派遣職員負担金(前年比750万円減)の減額によるものです。

普通建設事業費は3億8,177万9千円(前年比204.95%増)の増額で、主な理由は、消防費の泉ヶ丘消防署整備事業による工事請負費(前年比3億8817万6千円増)の増額によるものです。

公債費は1,169万5千円(前年比6.45%減)の減額で、主な理由は、消防費償還元金(前年比918万6千円減)の減額によるものです。

歳出予算(性質別)構成比 28億9,395万3千円(単位:千円)

